

平成 30 年 度

九州大学大学院システム情報科学府修士課程
学 生 募 集 要 項

2018

Application Guideline for the Master's Program
of
the Graduate School of Information Science and
Electrical Engineering
Kyushu University

■ システム情報科学府のアドミッションポリシー ■

計算機や情報処理技術の高度化と普及によって、情報科学は数学や物理学などに匹敵する科学方法論の基礎を与える基礎科学として、極めて重要な学問分野となりつつある。また、情報科学のもたらす成果は一般社会生活へも深く浸透し、工業分野全般への情報処理技術の適用はもちろんのこと、社会・文化・経済にも大きな影響を与えている。一方、長い歴史と大きな産業分野を抱える電気電子工学は、情報産業の母体として常にその発展に寄与しただけでなく、極めて高機能化・複雑化・大規模化した電気電子システムを生み出してきたが、今後も情報科学と密接な連携のもとに発展して行くことが期待される。そのような社会からの要望に応えるため、システム情報科学府は総合的で広い視野を持ち、かつそれぞれの分野で深い専門的知識と研究開発能力を備えた次世代の研究者や技術者を育成することを目指している。この趣旨に合った意欲ある学生を受け入れる。

■ Admission Policy ■

Owing to the advancement and spread of computers and information processing technology, information science has become an important academic discipline that provides a fundamental scientific methodology comparable to mathematics and physics. Moreover, progress in information science has permeated various aspects of our daily life and has been influential not only to industries in general, but also to our society, culture, and economy. On the other front, electrical and electronic engineering has a long and distinguished history in supporting extensive industrial fields. It has continuously contributed as a matrix of information industry and produced extremely sophisticated, complicated, and large-in-scale electrical and electronic systems. Electrical and electronic engineering is expected to further develop in close cooperation with information science. To respond to such social demands, the Graduate School of Information Science and Electrical Engineering aims to educate next generation researchers and engineers with comprehensive, broad vision, in-depth expertise and research and development capability in each specialized field. We admit students with a strong will to learn in order to meet such requirements.

1. 出願資格

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び平成30年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時まで22歳に達するもの
- (11) 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者

(出願に関する注意事項)

出願資格を有する者のうち、官公署、会社等の所属職員及び出願資格(2)及び(9)～(13)により入学を希望する者は、願書提出前に九州大学工学部等教務課教務係に相談すること。

※上記(9)～(13)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければならない。

2. 募集人員 (140人)

専攻名	コース名	専攻分野	募集人員	備考
情報学専攻		・数理情報 ・知能科学 ・計算科学	40	
情報知能工学専攻	知的情報システム工学コース	・先端情報・通信機構学 ・高度ソフトウェア工学 ・実世界ロボティクス ・先端分散処理機構	25	募集は、各コース毎に行う。
	社会情報システム工学コース	・先端情報・通信機構学 ・高度ソフトウェア工学 ・実世界ロボティクス ・先端分散処理機構	20	
電気電子工学専攻	電気システム工学コース*	・計測制御工学 ・エネルギー応用システム工学 ・超伝導システム工学基礎	28	募集は、各コース毎に行う。
	情報エレクトロニクスコース*	・電子デバイス工学 ・集積電子システム	27	

*コースの内容については、<http://portal.isee.kyushu-u.ac.jp/departments/electrical> の記載内容をよく読むこと。

3. 試験の実施方法

試験は、『一般試験』と『特別試験』の2通りを実施する。

情報知能工学専攻では、『一般試験』のみを、情報学専攻及び電気電子工学専攻では、『一般試験』と『特別試験』に分けて実施する。

『一般試験』について (全専攻)

『一般試験』は、「学科試験」と「口頭試問」により実施する。

『特別試験』について (情報学専攻及び電気電子工学専攻)

『特別試験』は、「学科試験」及び「口頭試問」に先立ち、「口述試験」を行い、それにより希望する専攻での勉学に高い意欲と適性、ならびに十分な学力があると認められる者については「学科試験」及び「口頭試問」を免除して合格とするものである。「口述試験」は第1志望についてのみ実施する。ただし『特別試験』希望者も願書に第2志望を記載することができる。第2志望は「口述試験」で合格せず「学科試験」及び「口頭試問」を受験することになった際に審査される。

「口述試験」を受験できる者は、『特別試験』を希望した者の中から、最終出身大学等の成績証明書等による書類審査により選抜される。この書類審査による選抜の結果は、全ての『特別試験』受験希望者に受験票を送付(平成29年6月2日頃予定)する際に文書により通知する。「口述試験」の対象にならなかった者、及び「口述試験」で合格しなかった者は、「学科試験」及び「口頭試問」を受験することとなる。

4. 願書受付期間

志望専攻等の区分		願書受付期間
情報学専攻 電気電子工学専攻	『特別試験』*を希望する者 (対象：他大学卒業見込み又は高専専攻科修了見込みの志願者)	平成29年5月15日(月)から 5月19日(金)午後5時まで
情報学専攻 情報知能工学専攻 電気電子工学専攻	『一般試験』を希望する者	平成29年7月3日(月)から 7月7日(金)午後5時まで

5. 出願書類

1	願書	本学府所定の用紙に、志望専攻及び履歴事項をもれなく記入すること。
2	照合票・受験票	本学府所定の用紙に、所要事項を記入の上、写真を貼ること。
3	成績証明書	最終出身大学等が発行したもの。 なお、高専専攻科修了または修了見込みの志願者においては、専攻科ならびに本科の成績証明書を提出すること。また、他大学卒業または卒業見込みで、高専本科または短大からその大学へ編入した志願者においては、高専本科または短大の成績証明書も提出すること。
4	卒業(見込)証明書	最終出身大学等が発行したもの。
5	学士の学位(見込)証明書	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者(見込)のみ提出すること(出願資格(2)により出願する者のみ)。
6	受験票返送用封筒	本要項に綴込みの所定の封筒に氏名・あて先及び郵便番号を明記し、郵便切手(92円)を貼る。
7	住所票	本要項に綴込みの用紙(シール)に志願者の住所(入学願書票の記載と同じ)・氏名を記入すること。
8	入学検定料原符	本要項綴込みの用紙の所定欄に金融機関の出納印が押印された『「九州大学」入学検定料振込金受付証明書(C票)』を貼付して提出すること。
9	出願資格認定申請書	出願資格(9)～(13)により出願する者のみ提出すること。本学府所定の用紙に記入すること。
10	小論文 (情報学専攻あるいは電気電子工学専攻の『特別試験』を希望する者のみ)	下記の項目について2,000字程度にまとめた小論文を提出すること。 1. 現在行っている研究 2. 希望指導教員(情報学専攻志望の者のみ)および入学後行ってみたい研究 3. 情報学専攻を志望する者は、情報技術者・研究者としての自身の将来像、電気電子工学専攻を志望する者は、電気系技術者・研究者としての自身の将来像
11	総合英語資格試験 スコア証明書	TOEICまたはTOEFLのスコア証明書 出願時：スコア証明書(コピー)を提出 試験当日：スコア証明書(オリジナル)を持参 *詳細については「6. 英語資格試験(TOEIC, TOEFL)について」を参照のこと。

6. 英語資格試験（TOEIC, TOEFL）について

(1) TOEIC 公開テストまたは TOEFL-iBT, TOEFL-CBT, TOEFL-PBT のいずれかを事前に受験しておくこと。

- ・スコア証明書とは、実施団体が発行し本人に直接郵送された TOEIC の Official Score Certificate または TOEFL の Test Taker Score Report あるいは Examinee Score Report を指す。

なお、スコア証明書は顔写真付きのものとし、記載の試験実施日が学科試験実施日（平成29年8月17日）より遡って2年以内のもののみを有効とする。

- ・以下のスコアは認められない。

TOEIC IP, カレッジ TOEIC, TOEFL ITP などの団体受験制度

TOEIC Speaking and Writing, TOEIC LPI, TOEIC Bridge

TOEIC Official Score Report

(2) 願書の該当欄にスコアを記入するとともに、出願時に TOEIC または TOEFL のスコア証明書(コピー)を提出すること。

- ・TOEIC または TOEFL を受験しているが、出願期間内にスコア証明書が届かない場合は、願書に受験日を記載しスコア証明書が届き次第コピーを提出すること。

(3) 試験当日のスコア証明書（オリジナル）持参については、以下のとおりとする。

○情報学専攻の口述試験を受験する者

- ・口述試験当日はスコア証明書（オリジナル）を持参すること。その際、出願時より新しいスコア証明書（オリジナル）を持参してもよい。
- ・口述試験における評価は、口述試験当日持参のスコア証明書（オリジナル）のみに拠る。
- ・口述試験当日スコア証明書（オリジナル）を提示しない場合は、口述試験は不合格とする。

○電気電子工学専攻の口述試験を受験する者

- ・口述試験当日にスコア証明書（オリジナル）を持参する必要はない。

○学科試験を受験する者

- ・学科試験当日はスコア証明書（オリジナル）を持参すること。その際、出願時もしくは口述試験時より新しいスコア証明書（オリジナル）を持参してもよい。
- ・最終的な評価は学科試験当日持参のスコア証明書（オリジナル）のみに拠る。
学科試験当日スコア証明書（オリジナル）を提示しない場合は、英語の成績を0点とする。

7. 入学検定料について

入学検定料 30,000円

入学検定料は次の方法で納付すること。

本要項に綴込みの『振込依頼書』の太枠で囲まれている記入欄に、必要事項を全て黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行窓口へ持参し、振込手続きをすること。

振込みを済ませたら、銀行窓口で返還された書類のうち、『「九州大学」入学検定料振込金受付証明書（C票）』を本要項に綴込みの『入学検定料原符』の「九州大学」入学検定料振込金受付証明書貼付欄に貼付し、併せて同原符に志望学府・住所・氏名・連絡先（TEL）を記入のうえ、出願書類として提出すること。

『振込依頼書』、『入学検定料原符』記入の際は、本要項巻末の「記入上の注意」を参照すること。
(注)

- ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込みはできない。
なお、三井住友銀行本支店にて振込みをする場合の振込手数料は無料となるが、他行から振込む場合は、振込手数料は志願者が負担することとなる。
- 振込みは、平成29年5月8日(月)以降とし、「電信扱」に限る。

8. 出願資格の事前審査

出願資格(9)～(13)により出願する者は、事前に資格審査を行うので、出願書類の(1)～(4)、(6)、(7)、(9)及び(11)を平成29年6月19日(月)から6月23日(金)正午までに、九州大学工学部等教務課教務係に提出すること。

なお、結果については、6月27日(火)までに専攻長から申請者あて通知する。

また、資格審査に合格した者の入学願書等はおって入学検定料原符の受領後、自動的に受理する。

9. 出 願 手 続

- (1) 出願者は、前記の出願書類を願書受付期間に、工学部等教務課教務係に提出又は郵送すること。
(あて先)

九州大学工学部等教務課教務係(伊都キャンパス)

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 TEL (092) 802-2724

- (2) 郵送による場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「大学院システム情報科学府修士課程入学願書」と朱書すること。郵送の場合も受付期間内に必着のこと。

10. 試験日時及び試験場

『特別試験』

月 日	時 間	試 験	試 験 場	備 考
6月14日(水)	10:00～17:00	口述試験	伊都地区試験場	詳細については、願書受理後、文書により通知する。
8月17日(木)	10:00～17:00	学科試験	伊都地区試験場	詳細については、「口述試験」の合否結果通知の際に文書により通知する。
8月18日(金)	10:00～17:00	口頭試問		

『一般試験』

月 日	時 間	試 験	試 験 場	備 考
8月17日(木)	10:00~17:00	学科試験	伊都地区試験場	詳細については、願書受理後、文書により通知する。
8月18日(金)	10:00~17:00	口頭試問		

11. 学科試験科目（一般試験及び特別試験共通）

専攻名	試験科目	出 題 範 囲	試験時間 (配点)	備 考
情報学専攻・情報知能工学専攻(注1)	英 語		(100点)	・当日提示される総合英語資格試験スコア証明書のスコアを利用する。
	基 礎 科 目 数 学	以下の6分野から3分野を選択 1) 線形代数 2) 微分方程式 3) ベクトル解析 4) 複素関数論 5) 確率・統計 6) 記号論理学	100分 (3分野で 計200点)	・分野の選択は、試験当日行ってよい。
	専 門 科 目	以下の6分野から2分野を選択 1) 電気回路 2) 情報理論 3) オートマトンと言語 4) 電磁気学 5) アルゴリズム／プログラミング 6) 計算機アーキテクチャ	120分 (100点/ 分野, 2分野で 計200点)	・分野の選択は、試験当日行ってよい。
電 気 電 子 工 学 専 攻	英 語		(100点)	・当日提示される総合英語資格試験スコア証明書のスコアを利用する。
	基 礎 科 目 数 学	以下の6分野から3分野を選択 1) 線形代数 2) 微分方程式 3) ベクトル解析 4) 複素関数論 5) 確率・統計 6) 記号論理学	100分 (3分野で 計100点)	・分野の選択は、試験当日行ってよい。
	専 門 科 目 専門Ⅰ	以下の3分野から1分野を選択 1) 電気回路 2) 電子回路 3) 制御工学	80分 (100点)	・分野の選択は、試験当日行ってよい。
	専 門 科 目 専門Ⅱ	以下の3分野から1分野を選択 1) 電磁気学 2) 半導体デバイス 3) 計算機工学	80分 (100点)	・分野の選択は、試験当日行ってよい。

(注1)：情報学専攻と情報知能工学専攻は、共に同じ試験科目である（基礎科目，専門科目）。

12. 合格者発表

『特別試験（口述試験）』

平成29年7月5日（水）午前9時頃に本学工学部等教務課掲示板に発表するとともに合格者に文書で通知する。

なお、合格者発表に関する電話等による問い合わせには一切応じない。

『一般試験』及び『特別試験（学科試験及び口頭試問）』

平成29年9月6日（水）午前9時頃に本学工学部等教務課掲示板に発表するとともに合格者に文書で通知する。

なお、合格者発表に関する電話等による問い合わせには一切応じない。

13. 入学時期

平成30年4月1日

14. 入学手続の際に納付する経費等

入学料 282,000円（予定）

授業料 267,900円（半期）（予定）

535,800円（年間）（予定）

（注）上記の納付金額（入学料・授業料）は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

15. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を常時受け付けている。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前できるだけ早い時期に「18. 問い合わせ先」まで相談すること。

16. 長期履修制度について

システム情報科学府では、学生が職業を有する、或いは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入している。

この制度の適用を申請し認められた場合、標準修業年限分の授業料を長期履修の年数で除した額を毎年納入することになる。

なお、手続等の詳細は、入学手続時に通知する。

17. その他

- (1) 募集要項（願書）等の郵送を希望する者は、封筒表面に「大学院システム情報科学府修士課程学生募集要項希望」と朱書し、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手205円を貼った返信用封筒（角2型）を同封して工学部等教務課教務係に申し込むこと。
- (2) 願書受理後は、記載事項の変更は認めない。また、検定料の払い戻しは行わない。
- (3) 受験票未着の場合は、試験当日までに工学部等教務課教務係に申し出ること。
- (4) 台風等による入試日程への影響が懸念される場合には、本学府インターネット web サイトのトップページから実施についての告知をするので確認をすること。

URL <http://www.isee.kyushu-u.ac.jp/>

（インターネットにアクセスできない場合は、(092) 802-2724あて電話で照会すること。）

18. 問い合わせ先

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学工学部等教務課教務係
電話 (092) 802-2724

平成29年4月

九州大学大学院システム情報科学府

URL <http://www.isee.kyushu-u.ac.jp/>

【願書等記載時の注意事項】

1. 情報学専攻及び情報知能工学専攻を志望する場合は、志望する専攻を第2志望まで記載することができる（電気電子工学専攻を第2志望とすることはできない）。
なお、第2志望専攻の記載は必須ではない。
2. 電気電子工学専攻を志望する場合は、情報学専攻及び情報知能工学専攻を第2志望とすることができない。
3. 情報知能工学専攻及び電気電子工学専攻を志望する場合は、志望するコースを第2志望まで記載することができる。
なお、第2志望コースの記載は必須ではない。
4. システム生命科学府（生命情報科学専門分野）の受験を希望する者は願書の該当欄をチェックすること。

システム情報科学府を受験した学生は、本出願によりシステム生命科学府の受験資格を得ることができる。ただし、システム情報科学府が合格の場合、本資格は与えられない。

システム生命科学府の志願者は、別途、システム生命科学府事務室あてに TOEIC 又は TOEFL のスコア証明書の写しを提出する必要がある（平成29年9月4日（月）～9月8日（金）午後5時まで）。詳細はシステム生命科学府 web サイト（<http://www.sls.kyushu-u.ac.jp/>）の「平成30年度九州大学大学院システム生命科学府博士課程学生入学試験（併願）実施要項」を参照すること。システム生命科学府の最終合否は、9月27日（水）実施のシステム生命科学府併願試験における面接試験の後に決定する。併願試験に関する問い合わせ先：システム生命科学府事務室（e-mail：sls-jimu@sci.kyushu-u.ac.jp）。

【記入例】

例 1)

専攻名		コース名	
第1志望専攻	情報知能工学 専攻	第1志望コース	社会情報システム工学 コース
		第2志望コース	知的情報システム工学 コース
第2志望専攻	情報学 専攻	第1志望コース	コース
		第2志望コース	コース

システム生命科学府（生命情報科学専門分野）の受験審査を希望する

※例1の場合、志望順位は以下のとおりとなる。

- ①情報知能工学専攻 社会情報システム工学コース
- ②情報知能工学専攻 知的情報システム工学コース
- ③情報学専攻
- ④システム生命科学府

例 2)

専攻名		コース名	
第1志望専攻	電気電子工学 専攻	第1志望コース	情報エレクトロニクス コース
		第2志望コース	電気システム工学 コース
第2志望専攻	専攻	第1志望コース	コース
		第2志望コース	コース

システム生命科学府（生命情報科学専門分野）の受験審査を希望する

※例2の場合、志望順位は以下のとおりとなる。

- ①電気電子工学専攻 情報エレクトロニクスコース
- ②電気電子工学専攻 電気システム工学コース
- ③システム生命科学府

例 3)

専攻名		コース名	
第1志望専攻	情報学 専攻	第1志望コース	コース
		第2志望コース	コース
第2志望専攻	情報知能工学 専攻	第1志望コース	知的情報システム工学 コース
		第2志望コース	コース

システム生命科学府（生命情報科学専門分野）の受験審査を希望する

※例3の場合、志望順位は以下のとおりとなる。

- ①情報学専攻
- ②情報知能工学専攻 知的情報システム工学コース

〔備考〕 出願書類における個人情報の保護について

- (1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
 - ① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
 - ② 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
- (2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。